

心に響く感動の船旅

クルーズを もっと身近に!



ハウツー クルーズ

クルーズの旅は一度体験したら、また行きたくなる魅力を秘めています。クルーズが多くの人々に愛される、その理由をご紹介します。

クルーズは
お気に召す
まま!

日本の客船には、1泊2日のワンナイトクルーズから約80日間のワールドクルーズまで、さまざまな泊数のクルーズがあります。



Anniversary Ceremony
**アニバーサリー
セレモニー!**
船上で迎える
誕生日や結婚記念日などの
記念日には、スタッフが音楽やケーキで
お祝い! ※詳細は予約時にご確認ください。



クルーズって
いろいろ
あるのね

わが家気分リラックス

大きな荷物は事前に宅配便で送り、乗船の際には乗船券や貴重品、身の回りのものだけでOK!

重いスーツケースを持って移動する必要がないのはクルーズならではの。あとは客室に荷物を取めるだけで、下船までわが家のようにお過ごしいただけます。



スーツケース
を持ち歩か
なくて良いの!?

寝ている間に次の観光地へ

基本的にクルーズは、寝ている間に次の寄港地に向かって移動します。朝、寄港地で観光へ。夕方、船に戻りディナーやショーを楽しんで就寝している間に、船は次の寄港地を目指して進みます。翌朝、目を覚ます頃にはすでに次の目的地です。終日航海などの場合は、船上のプールや教室などで楽しく過ごしている間に、移動のみに割く時間はほとんどありません。



体力も時間も
大幅に節約
できるんだ!

リーズナブルな料金に安心

日本船3隻のクルーズ代金には移動、宿泊、食事、ショーやカルチャー教室などの各種イベントやエンターテインメントなど、旅行に必要なほとんどの費用が含まれています。

※アルコール類、一部レストランの利用、船内でのショッピングなど有料のものもあります。



日本船でおもてなし

「飛鳥II」、「にっぽん丸」、「ばしふいっくびいなす」の日本船3隻には日本人ならではの気遣いやおもてなしの心が息づき、究極の癒しを体験できます。

日本船クルーズの魅力

チップが不要

常に“日本食”が食べられる

船内言語が日本語

大海原を眺めながらの入浴



クルーズを申し込むには

パンフレットやWEBでクルーズを探す!



旅行会社の窓口やコールセンターで相談!



Point!
クルーズコンサルタントのいる窓口なら、より一層詳しい説明が受けられる!

2 行きたいクルーズが決まったら申し込み!

※国外に行くクルーズはパスポートや海外渡航用の手続きが必要です。

3 オプションツアーがある場合は、出発日の約1カ月前にツアーの申込み用紙が郵送で送られます。

4 乗船に関するしおりや、乗船券、タグなどは、出発日の約2・3週間前に郵送されます。



6 さあ、船上へクルーズの始まりです!



5 手荷物だけで乗船OK

Point!
最小限の荷物だけでラクラク!

大きい荷物は宅配で!



Point!
送付期限などが決められているので事前に確認して送ろう。

クルーズをアドバイス クルーズコンサルタントとは、セミナーを通じて専門知識を習得し、クルーズアドバイザー認定試験に合格したクルーズ旅行のスペシャリスト。「客室はどんな?」「船の中では何が出来る?」「予算はいくらぐらいかかるの?」……などのクルーズに関するさまざまな質問に答え、ニーズにあったクルーズをご案内します。

クルーズの一日

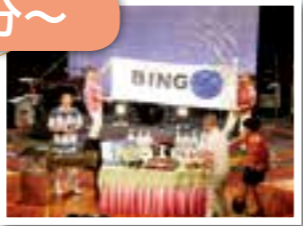


朝食
和食にしようか
それとも洋食？
どちらにしようか

洋上のパラダイス、海に浮かぶリゾート・ホテル——
クルーズには楽しさ、美味しさがたくさん詰まっています。
クルーズのある一日を追いながら、
バラエティーに富んだ食とエンターテインメント、
アクティビティーの数々をご紹介します。

ディナー
食事はクルーズの
大きな楽しみの一つ
シェフが腕によりをかけた料理と、
テーブルメイトとの楽しいひととき

昼食
和食、洋食あるいは
ビュッフェ・スタイル？
天気の良い日にはデッキランチも



船上で趣向を楽しむ、テーマクルーズ

船上で「楽しめること」にポイントを置いたクルーズです。ゆったり楽しんでもらうために無寄港クルーズだったり、特別なレクチャーや船上観察を行ったり。寄港地も船上も存分に味わってほしいクルーズです。

祭り

東北の祭り(竿燈祭り、ねぶた祭等)や四国の阿波おどりをテーマとしたクルーズが毎年多く開催されます。祭り会場までスタッフが同行したり、栈敷席や阿波おどりの参加できるお祭りでは、事前に準備・予約するなど、すべてクルーズに組み込まれています。おまかせで祭りを十分に味わった後に、船に帰って大浴場でひと汗流すもだご味の一つでしょう。



音楽

船上で自分好みの音楽に酔いしれる。通常のクルーズにも音楽は溢れていますが、「フラクルーズ」や「音楽会クルーズ」、「オペラクルーズ」などの特色ある音楽をテーマにしたクルーズでは、船内がハワイのイメージになったり、本格的なオペラが上演されたり、その時のテーマの音楽で彩られます。



花火

熊野花火、海峡花火、神戸花火、館山花火のなど、全国の花火大会をゆったりと船上から観覧します。大会終了後は、満員電車に乗ったり、交通整理がでるほど混雑する路上を歩くこともなく、すぐに自分の船室に戻れます。船内のカフェやラウンジなどでつろぎながら花火の余韻に浸ることもできて、素敵なひとときになります。



島

船でしか行けない小笠原をはじめ、屋久島、沖縄、利尻、礼文などの船での来島が便利な島々を巡るクルーズはもりだくさん。希少な動植物が生息する島々を訪れるクルーズでは、往路で専門家からのレクチャーがあったり、航海中の船上から「クジラ」や「イルカ」に遭遇することもあります。海に囲まれた島々で味わう海産物も格別なのです。



スペシャル

現役力士とともに乗船する「大相撲クルーズ」や、飛鳥II名誉船長の加山雄三氏がプロデュースする「若大将クルーズ」などの著名人の方々が同行するなど、個性あふれるテーマで催行されるクルーズです。「皆既日食クルーズ」のように限定された自然をテーマに企画されるクルーズは、数年に一度だけの場合もあり、チェックしておきたいクルーズです。



例えば……

クルーズ客船は、まさに洋上をゆくりリゾート・ホテルです。ときには客室やデッキでつろぎ、ときには数々のエンターテインメント、アクティビティ、そしてシェフ自慢の料理を楽しみながら、私たちは目的地まで安全に、快適に移動することができます。充実の施設と信頼のホスピタリティを誇る、素敵なクルーズ客船たちのプロフィールをご紹介します。



飛鳥II

ASUKA II

郵船クルーズ株式会社
TEL.0570-666-154
<http://www.asukacruise.co.jp>

SHIP DATA

50,142総トン/全長 241m/全幅 29.6m/喫水 7.8m/速力 21ノット
デッキ12層(乗客スペース9層)/乗客定員872名/乗組員約470名/
1990年建造(2006年改装)/船籍 日本



バームコート



ロイヤルスイート



マリナーズクラブ



プレミアムダイニング「プレゴ」

初代飛鳥の「和のおもてなしの心」そのままに、日本最大のラグジュアリーシップとして2006年2月にデビューした飛鳥II。チョイスの豊富さとともに、さらにおいしくなったと評判の料理もお楽しみいただけます。2010年のロイヤル・スイートの全面改装など、さらにゆったりした大人の旅を提供。初代飛鳥から「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」を就航以来連続受賞しています。



にっぽん丸

NIPPON MARU

商船三井客船株式会社
TEL.0120-791-211
<http://www.nipponmaru.jp>

SHIP DATA

22,472総トン/全長 166.6m/全幅 24.0m/喫水 6.6m/速力 21ノット
デッキ9層(乗客スペース8層)/乗客定員 524名/乗組員 230名
1990年建造(2010年改装)/船籍 日本



リズテラス



ラウンジ「海」



デラックスベランダ



オーシャンダイニング「春日」

大改装を経て、ますます充実したにっぽん丸。客室には新しく「グランドスイート」、「ピスタスイート」、「ジュニアスイート」、「デラックスベランダ」、「デラックスシンクル」などが登場しました。オーシャンダイニング「春日」も新設され、ソムリエ田崎真也氏がワインセラーをプロデュース。またハウスワインも選定。「食のにっぽん丸」が更なる進化を迫っています。



©篠本秀人

ぱしふいっくびいなす

PACIFIC VENUS

日本クルーズ客船株式会社
TEL.0120-017-383
<http://www.venus-cruise.co.jp>

SHIP DATA

26,594総トン/全長183.4m/全幅25.0m/喫水6.5m/速力18.0ノット
デッキ12層(乗客スペース8層)/乗客定員620名/乗組員220名/1998年建造
船籍/日本



ロイヤルスイート



エントランス



ダイニングサロン



メインダイニングルーム

明るく、親しみやすいホスピタリティと「ふれんどしっふ」をコンセプトにしています。日本人オフィサーやフィリピン系のクルーに加えて、東欧からやってきたサーブ・クルーも乗船しており、華やかなムードを作り出しています。日本船のなかでいち早く取り入れたスイートクラス専用ダイニングは、きめ細やかなサービスが好評です。

いろいろ知りたい!

乗船前の5つの質問

「クルーズは楽しみたいけど、ちょっと心配・不安なことが……」など、クルーズが初めての方々からの声。多くの理由が「船酔い」、「退屈」、「服装」、「等級」、「高額」の5つ。これら5大質問についてお答えします。

お答えします

船酔いもご心配なく!

乗船っていうとやっぱり船酔いが気になるわ……

Aさん

そんぶときも
ご安心ください!

クルーズコンサルタント

船酔いの防止もバッチリです!

- ① 揺れない航路を選ぶ!
- ② 船体も揺れにくく工夫!
- ③ 酔い止め薬も常備!

いざというときは
ドクターもいるので安心です!

それなら安心ね!

飲み過ぎには
ご注意ください

暇つぶしどころが……

ずっと乗ってるだけだとヒマになりそうね

本とかいろいろ持っていきべきかしら

その必要はありません!

数々のイベントが用意されています!

船内新聞に一日のスケジュールが載っているのね! まあ、ぎっしり!

もちろん何もせずゆっくりするのも船旅のだいご味です

ヒマ潰しのための準備は必要なさそうね!

そんなに……

自分なりにヘンシヘン!

船の上ではどんな恰好をすればいいの?

夕方以降の服装についてはドレスコードというものがあるのでそれに合わせてどうぞ!

ドレスコードは3種類!!

日中は動きやすい服装でOK!

準備する服についてはクルーズに申し込むと届く案内書でチェックできます!

おお!なるほど

どんな服にするかワクワクするわ!

ええ ぜひおしゃれを楽しんでください

事前に確認していただいて自分なりのコーディネートで大丈夫ですよ!

まさにホテル?!

船内でもクラスによっていろいろ違いがあるの?

エコミー? ビジネス? ファース?

客室のタイプの違いはありますが

すべてのお客様は船内を同様にご利用いただけます!

ラウンジ、カフェ、プール、ジムシアターにカードルーム……船内の充実した施設で遊んでいただけたりおくるぎいただけます!

まさに洋上の動くホテルねっ!

目いっぱい利用したら“船友”もたくさんできちゃった!

そうなのね! 誤解していたわ

オドロキ! すべて込み込み?!

へえ……クルーズ旅行の相談をしてきたのか

夫

いろいろ聞いてきちゃった! 船旅って楽しそうよ!

でも代金が高いんじゃないのか

実はそうでもないの……

運賃、宿泊費、食事代(朝・昼・夕食・ティータイム・夜食も!) 更にはエンターテインメント費まで……

かた込み!!

すべて入ってこの料金なのよ!

むしろお得なぐらいじゃないかっ!

よし! 今すぐ船旅に行くぞ!

あなた! いろんな事を決めてから申し込まないと~!

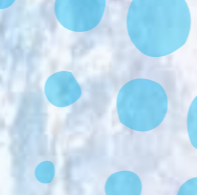
国内クルーズ

四季折々の風景、風物を散りばめた国内クルーズは、大きな感動に満ちあふれています。



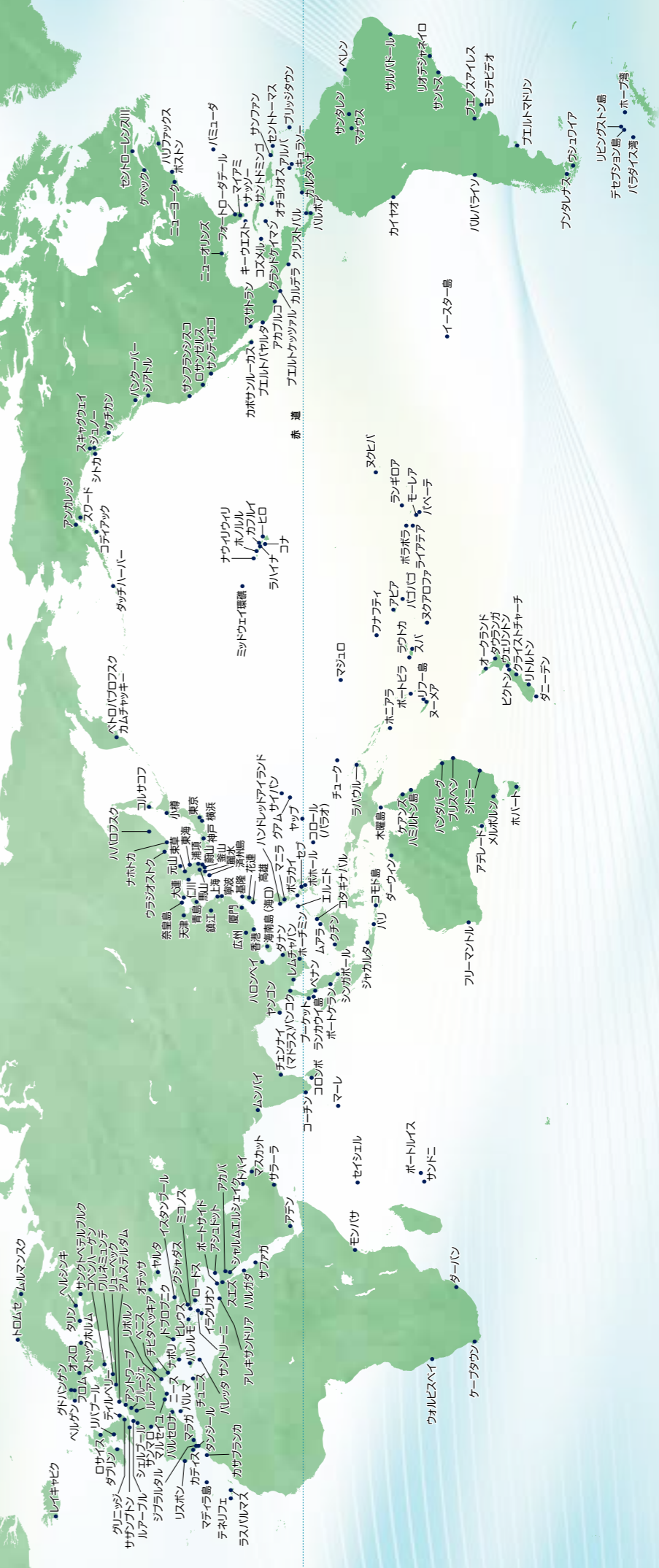
稚内
利尻島(啓形、鷺泊)
留萌
岩内
小樽
苫小牧
室蘭
函館
大湊
七里長浜
鵜飼
能代
船川
秋田
仙台
石巻
相馬
小名浜
茨城(大洗・日立・常陸那珂)
鹿島
千葉
木更津
館山
熱海
新島
神津島
八丈島(八重根、神湊)

伏木富山
輪島
七尾
富山新港
金沢
福井
敦賀
名古屋
四日市
衣浦
蒲郡
豊橋
三河
鳥羽
尾鷲
新宮
串本
田辺
高松
徳島
小松島
日高
宇和島
高知
あしすり
土佐清水
宿毛
宮崎(日南)
志布志
指宿
鹿兒島
雲仙(小浜)
牛深
八代
三角
別府
大分
長崎
福江(三井楽)
佐世保
平戸
伊万里
門司
中津
周防大島
萩
防府
仙崎
宇部
三浦湾
対馬
厳原
香岐(郷ノ浦)
九十九島
青方
中通島
福江
雲仙(小浜)
鹿兒島(里)
屋久島(宮之浦)
(西之表)
種子島
(島間)
屋久島(安房)
西表島
石垣
宮古島(平良)
与那国(相納)
久米島
本部
中城
那覇
久高島
奄美大島(名瀬)
奄美大島(古仁屋)
沖永良部島(和泊)
南大東島
小笠原
父島(二見)
母島



海外クルーズ

クルーズは世界へのとびら。地球を縦横無尽に航海します。七つの海を越え、世界各国の歴史、文化と大自然に出合える感動の旅。それが、クルーズの魅力です。快適な洋上ライフとともに、存分にお楽しみください。





クルージング Q&A

Q クルーズでは、どのような服装を心掛ければよいですか？

A 日中はご自分の趣味に合わせ、自由にリラックスできる装いでクルーズライフをエンジョイしましょう。夕刻のパーティーやディナー時からの服装については、毎日のプログラムを記載している船内新聞で案内します。一般的に「ドレスコード」と呼ばれるもので「フォーマル」、「インフォーマル」、「カジュアル」といった指定があります。せっかく同じ船で、同じ時間を過ごすのですから、だれもが同じ気分と雰囲気を楽しみましょう、というのがドレスコードの趣旨です。

フォーマルは男性／タキシードやダークスーツ、女性／ドレスやスーツ、インフォーマルは男性／ジャケットにネクタイ、女性／ワンピースやブラウスにスカート、カジュアルは襟のあるシャツにスラックス、スカートといった格好が目安です。

しかし、最近のドレスコードはあまり厳密ではなくなる傾向にあり、またクルーズする季節やエリアによっても異なります。ご予約後に送付される乗船のしおりにドレスコードの予定が記述されているので、それに合わせて服装をご用意ください。

Q 船の食事は、2回の入替制と聞きましたが？

A ディナー（夕食）時は、乗客全員が一堂に会してお料理を楽しむワン・シーティング（1回制）と、2回に分かれるツー・シーティング（2回制）の場合があります。夕食時、お客様のテーブルは指定されるのが一般的ですが、これもやはりそのときの乗客数により異なり、指定がないクルーズもあります。朝食、昼食のテーブルは自由です。

—心の休暇、私の船旅—

一般社団法人 日本外航客船協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-4 海運ビル
Tel.03-5275-3710 / Fax.03-5275-3317
E-mail gogo@jopa.or.jp
Homepage <http://www.jopa.or.jp>

Q 荷物はどのくらい持ち込めますか？

A 客船のうれしいところは、自分の客室に入るなら好きなだけ荷物を持ち込めることです。クローゼットもたっぷりあるので、ちょっとしたわが家気分でも過ごせます。船内でおしゃれを楽しむなら、お気に入りの服を多めに持ち込むとよいでしょう。国内発着のクルーズでは、荷物はあらかじめ宅配便で乗船地のターミナルへ送り、客室前の通路に届けておくことができます。ある程度の大型のお土産が持ち帰れるのもクルーズの強みです。ただし、持ち込む荷物の個数には制限がありませんが、荷物1個の重さや大きさには制限があります。また、フライ&クルーズの場合は、利用する飛行機の手荷物制限に準じることになります。

Q 万一病気になったら？

A 船内の医務室には医師もしくは看護師が常駐しています。高齢でも健康な方なら、まず安心して船旅がお楽しみいただけます。

Q 洗濯はできますか？

A 有料のランドリーサービスの他に、無料で利用できるセルフサービスの洗濯機・乾燥機・洗剤・アイロンなどが用意されています。自由にご利用ください。

Q 船では時差をどうやって調整するのでしょうか？

A 船はゆっくりと移動するので、時差が生じる場合も1日1～2時間ほどです。時差がある場合は、船内新聞などで案内されます。室内の時計や自分の時計などを進めたり、遅らせたりして対応します。このくらいの時差なら時差ボケにもならず済みますが、分かりづらい場合などはきちんと確認して、混乱しないように気をつけてください。

Q 寄港地観光はどのように？

A 各寄港地には、その土地の魅力が十分に味わえるオプションツアーが用意されています（別代金）。船上で申し込むこともできますが、人気の高いツアーは満席になってしまうので、乗船前に予約しておくとい良いでしょう。また、ショッピングなどで市街地に出たい方のために、港からシャトルバスが運行されることもあります。

Q 船から陸上へ連絡は取れますか？

A 国内外とも船内の公衆電話での通話が可能です。レセプションに依頼すればファクシミリの送受信も可能です。また陸地からの距離にもよりますが、国内外の船上からも携帯電話が利用できます（携帯電話の機種や契約により異なります）。

Q パソコンは利用できますか？

A 電子メールやインターネットが利用できる船も最近では増えてきました。プリペイドカードを購入し、船内に備え付けのパソコンを利用する場合と、自分のパソコンを持参して、無線LANに接続するケースがあります。ただ、いつも使っているメールアドレスが使えず、乗船中の専用アドレスをもらって利用する場合もあります。

Q 人気のクルーズは早めの申し込みが必要と聞いたのですが？

A 年々、早めに予約することが必要になってきています。人気のクルーズは販売開始と同時に予約が殺到します。スケジュールの発表などをこまめにチェックするほか、乗船中に次回のクルーズが予約できるオンボード・ブッキングなどで事前予約を利用するのがよいでしょう。

●一般社団法人 日本外航客船協会とは

一般社団法人 日本外航客船協会は、外航客船の安全運航対策や利用者保護制度の整備等を通じて、より安全で快適な船旅を実現するとともに、船旅の魅力をより多くの皆さまに知っていただくための広範な啓蒙活動を行うことを目的に設立された団体です。当協会は、外航客船を運航する会社および旅行会社などを中心に構成され、「ゆとりの時代」にふさわしい新しいレジャーとしての船旅のわが国への定着と、それを支える客船事業の一層の振興を目指し、設立以来、積極的な活動を続けています。